

わ つ た ～ バス新聞

新生活におすすめ！バスで「自分時間」を充実させよう！

**「ご存じですか？
バス利用はメリットがいっぱい！」**

うららかな春の訪れ。新しい季節とともに何か新しいことを始めたい人も多いのではないかでしょう。この季節は入学や進学、社会人デビューや転勤など、これまでとは異なる場所での生活がスタートする人も多いはず。

そこでわ つ た ～ バス党からのご提案！この春、通勤や通学にバス利用を始めてみませんか？バス利用には、思った以上にいろいろなメリットがありますよ。さっそくご紹介していきます！

〈バスならではの自分時間〉

渋滞の中で車を運転するのは、精神的に大きなストレスになりますよね。バスなら運転はしなくていいので、そのストレスはありません。しかもバスに乗っている時間を自分のために有効に使えるから快適そのもの。スマホで本やニュースを読んだり、音楽を聴いたり、動画を観たり。寝不足なら仮眠を取るものOK！仕事の準備や勉強だってできちゃいます。他にも、お子さんがバス通学に切り替えてくれたら、親御さんの送迎の負担が減りますよ。時間にも心にもゆとりが生まれますよ。

〈バスでもっと健康に！〉

「健康のために運動したいけど毎日忙しくて…」という人は、通勤・通学をバスに変えるだけで、バス停まで歩く時間がそのままウォーキングタイムに変身！毎日5分歩くだけで、月に2回ジョギングするのと同じ程度の運動効果が期待できるのだとか。また、歩くことで脳の活性化や血行促進につながり、体温UPや免疫力UP、リラックスタイムもあるそう。ヘルシーな習慣が自然に身につくのはうれしいですね。

※バス停やバス車内でできるフィットネス動画「バスで健康」も見てみてね！



バス通勤で自分時間

- 通勤中に資格取得の勉強
- 気になる本を読みながら通勤！
- 渋滞の運転ストレスとさよなら
- 飲み会はバスがいいさ～♡



バス通学で自分時間

- テスト勉強も車内でスイスイ♪
- バスで親にゆとりをプレゼント
- バス通学で『自立』はじめます！
- ステキな出会いがあるかも…♡

※まずはルート・時間・運賃をCheck!



バスは家計にも地球にも優しい

バスの利用はガソリン代や駐車場料金がかからない上、定期券などのお得な乗車券もあるので経済的になることも。

また、1台で約50人を運べるバスを利用することとは、渋滞の緩和やCO₂削減につながり、地球に優しい移動手段といえます。

バスを使うだけでSDGsの実現に貢献できる、まさに「バスDGs」ですね。

この他にも、お子さんがバス通学を始めることは、将来、県外の大学などに進学した際に公共交通機関の利用に慣れるきっかけになり、時間通りに行動する習慣や、社会のマナーを学ぶいい機会になります。

親子で、家族みんなで、バスの利用について話し合ったり、お役立ち情報をシェアしたり。楽しく快適にバスを利用して、笑顔の春をスタートしてみませんか。

バスの乗り方ガイド

スマホやタブレットで
便利に使える！

①検索サイト・アプリ

◆Googleマップ

目的地を検索し経路で公共交通のマークを選択すれば、バスの路線や番号、料金までわかる便利な地図検索アプリ。

◆のりものNAVI Okinawa(旧バスなび沖縄)

バスの路線検索・接近情報が確認できるサイト。バス停の時刻表にあるQRコードからもアクセスでき、バスの現在位置がわかる。

◆Yahoo!乗換案内

通常の検索以外に、料金が安い順や乗り換えが少ない順なども検索できるアプリ。よく使う駅やバス停を登録できる便利機能もあり。



googleマップで
バス路線検索
[webサイト]



これさえわかれば簡単！②バスに乗ってみよう！

市内線 20番未満(7・8・10・18番を除く) 均一運賃



①前のドアから乗ります。
(12は後ろのドアから乗車)

※OKICAは乗車時、
端末にカードをタッチ！



②乗ったらすぐに運賃を運賃箱へ。
※OKICAは乗車時、
端末にカードをタッチ！



③降りるバス停がアナウンス
されたら降車ボタンを押す。
(7・8・10は後ろのドアから乗車)

※OKICAは乗車時、
端末にカードをタッチ！



④停車後に席を立ち、後ろの
ドアから降ります。

「バス路線がわからない？」
サクッと解決！[動画]



バスのトリセツ
[動画]



みんなでバスに乗ろう！

親子で学ぶ「バスの乗り方教室」 2つの小学校で実施しました！

マナーや乗り方を知つてバスを身近に

小学生にも路線バスの乗り方やマナーティ・マネジメントについて学んでもらおうと、わったくバス党による「バスの乗り方教室」が2つの小学校で開催されました。2023年11月には沖縄県立博物館・美術館で、天久小学校4年生の児童約120名とその父母、先生方が参加。

2024年1月には、てだこホールで当山小学校4年生の児童約40名と

移動手段を「過度にクルマに頼る」のではなく、「公共交通など多様な交通手段を「かしこく使う」方向へ改善していく取り組みです。

乗り方教室ではまず、バス党のあさとゆう・党首とあさとぽん幹事長、そしてバス会社の担当者がバスの乗り方の手順や子どもの運賃・交通系ICカード・OKICAやバス路線の検索方法などを解説しました。

実際の路線バスに乗ってみよう！

その後2つのグループに分かれ、路線バスへの乗車体験とモビリティ・マネジメントの授業＆クイズを交互にチャレンジしました。

乗車体験では、駐車場で実際の路線

バスに乗車し、整理券の受け取り方や運賃表示板の見方、運賃の支払い方などを体験。車内では飲食禁止や



車椅子に乗ってスロープ体験

バス党の「バスの乗り方教室」を希望する小中学校はこちままで

沖縄県交通政策課
電話 098-1866-12045



実際の路線バスで乗車体験

大声で騒がないなど、マナーも学びました。運転席に座ったり、車イスに乗ってスロープで車内に乗り込んだりする体験をした児童もいました。

授業では、「地球環境にやさしい交通手段は？」、「渋滞するとなぜ困るの？」といったクイズに積極的に回答。子どもたちは「うんちん箱のお金や整理券はどこへ行くの？」、「OKICAの残高はどう見るの？」、「バスに忘れ物をしたら？」などの質問が寄せられました。

親子で公共交通を学ぶ機会に

「乗り方教室」に参加したあいわさん（天久小）は、「楽しかった。バスのことをもっと知りたい」と話す。お母さんは「親子で楽しく学べるいい機会になった」とコメント。「車イスの乗り降りがおもしろかった。バスはたくさん的人が乗れていいと思う」と話すまさきくん（当山小）。お母さんも「OKICAがバスで使えると知ったので、ぜひ使ってみたい」と話します。

「乗り方教室」はバス党やバス会社によって、県内の小学校をはじめ、障がい者や医療関連の施設、企業向けに実施。誰でも安心して快適にバスを利用してもらえるよう、さらに活動広げて継続していく予定です。

今年度入賞作品18点が決定

「あつたらしいな、こんなバス」をテーマに、県内の小学生を対象とした「かなえ！夢バス图画コンクール」が4年ぶりに開催されました。

今年度から作品はデジタル応募に変わり、離島を含めた61校から261点の応募がありました。わったくバス党の幹事長をはじめ、バス会社各社（琉球バス交通・那覇バス・沖縄バス・東陽バス）、沖縄県バス協会、沖縄県、絵本作家として活躍中のデザインオフィス エガク代表・しろませいゆうさんらが審査を行い、18点の入賞作品が決定。

昨年11月10日に表彰式が行われ、入賞作品に賞状と賞品が贈られました。最優秀賞は那覇市立さつき小学校3年生、仲眞莉愛奈（なかもりあな）さんの「ゆめをのせて走れジンベイバス」で、他にもシーサー



ラッピングバスの前で記念撮影



バス党 図画コンクール表彰式の様子

**4年ぶりに開催！
「かなえ！夢バス图画コンクール2023」**

令和5年度
かなえ！
夢バス
图画コンクール
4年ぶりに開催！
「かなえ！夢バス图画コンクール2023」

入賞作品Webで公開中

沖縄本島内に夢バスが運行中！

やハブをモチーフにしたり、環境に配慮したものなど、いろいろな夢バスがありました。

バスマップ沖縄の谷田貝 哲氏、まちづくりファシリテーターの石垣綾音氏をお迎えして、各社の公共交通利用の取り組み事例を紹介しながら、どうしたら社内でバスを気軽に利用してもらえるかを話し合いました。会場からは「車からバス通勤に切り替えた通勤が20分も短縮された」、「バスだと周りの風景を見て季節を感じ、心が豊かになる」という意見も。「沖縄は他県より自動車の数が多い。10人に1人、10日に1日でもバス利用が増えると社会全体に大きな変化がある」という講師の報告など、気づきがありました。

また、今年度新たに加わった法人党員2社の認定式と、功績のあった法人党員を表彰する「Thanks Award」（サンクスアワード）が2023年の表彰式も行われ、各社の積極的な取り組みが紹介されました。

法人党員・企業セミナーを開催

◆ 全国健康保険協会
(協会けんぽ) 沖縄支部

通勤時間の渋滞対策、公共交通機関の利用による身体活動量の向上を目指すため、バス党の



法人党員・企業セミナーの様子

2024年1月26日、沖縄県立博物館・美術館でわったくバス党法人党員向けの「公共交通利用促進セミナー」が開催され、27の法人党員企業・団体が出席しました。講師に

取り組みに賛同し入党。

職員採用時の公共交通機関の利用促進や時差出勤の導入を実施しています。

沖縄県労働者福祉基金協会

通勤に便利な那覇バスター・ミナルと同じ建物に位置し、公共交通機関を利用することで渋滞緩和にも貢献。

SDGsにも取り組んでいることから、バス党の取り組みに賛同して入党しました。

環境や交通問題解消に向け、

バス党のポスターなどを積極的に掲示し、昨年度は「バス通勤トライアルキャンペーン」にも参加。参加社員はバス通勤に転換し現在も継続中。

法人党員は継続募集中。

詳しく述べるところまで



Thanks Award 2023 表彰企業
錦屋旗店株式会社

法人党員になつて6年が経過した現在も、社員の約6割が公共交通機関や自転車、徒歩で通勤している状態を維持。バス通勤者には距離に関係なく交通費を全額支給。

バス党のポスターなどを積極的に掲示し、昨年度は「バス通勤トライアルキャンペー

ン」にも参加。参加社員はバス通勤に転換し現在も継続中。

法人党員は継続募集中。